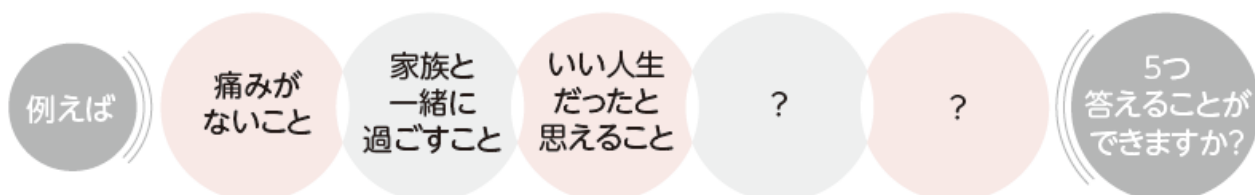


元気なうちから“もしものとき”を考える ～『縁起でもない話』を当たり前に～

想像してみてください。

あなたは突然病気にかかり、人生の最期の時を迎えることになりました。

自分の最期に「大切にしたいこと」は何ですか？また、ご家族や親しい方は、あなたが大切にしたいことを知っていますか？



私たちは自分の人生の最期を、いつ、どのように迎えるのか、わかりません。また、想像することも、「縁起でもないこと」と避けて通っているかもしれません。

しかし、自分らしく最期まで生きるために、自分のことを自分で決めることができるうちに考えること、『どうしてほしいのか』をご家族や親しい方に伝えること、理解し合う時間を持つことは、とても大切です。一度で決めず、健康状態や気持ちが変わる度に話し合ってもかまいません。“もしものとき”について、考えたり話し合うことを当たり前にしていきましょう。

もしバナゲームと事前指示書の書き方講座

～縁起でもない話を当たり前に～

自分の気持ちに向き合い、また自分の思いを代弁してくれるご家族や親しい方と話し合うきっかけになるゲームの体験と事前指示書の書き方の講座を開催します。

元気なうちに、“もしものとき”を考えてみましょう。

- 日時** 平成31年1月15日(火)13時30分～15時
場所 保健センター 大会議室
定員 40名(先着順)
対象 市内在住の方。年齢は問いません。
申込み 12月5日(水)9時から電話で保健センターへ

問合せ 保健センター ☎84-0646

事前指示書とは・・・

もし自分で意思表示ができない状況になったとき、どうしてほしいかを書くものです。半田市版「私の事前指示書」は、保健センター、高齢介護課、半田病院、半田市包括支援センターに設置してあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。（サイト内で「事前指示書」で検索）

私の事前指示書

① 代理判断者の選択
自分に代わって、自分の医療・ケアに関する判断や決定をする人を選びます。
※代理判断者は、身体状態や意思の状況、あるいは医学の進歩を考慮して「その時の最適な」として最善の判断可能者としてくれる人です。
「私が自分自身で、医療・ケアに関する判断・決定ができなくなった時、以下の人を代理判断者とします。」

代理判断者	代理判断者
氏名 (姓・名)	氏名 (姓・名)
住所	住所
電話番号	電話番号

② 終末期に「望む医療処置」と「望まない医療処置」
病気が治る見込みがないにもかかわらず実施される「延命治療」について、「何を希望するか」を記載。
※延命治療とは、人工呼吸器・心臓ペースメーカー（心臓マッサージ）や人工透析・人工栄養・人工水分補給（点滴、胃腸栄養、腸ろうなど）、人工呼吸・気管切開など、延命に関わる心臓を維持する働きのある見込みのある医療処置を指します。
※「延命治療望まない」ということは、すべての延命治療やケアをやめることではありません。「望まないケア」として「何を望まないか」を記載してください。
「私の病気が治る見込みがなく延命治療が単に死期を延長させるだけの手段であると判断した場合、私は以下について希望します」

↓
望む医療処置
 私は延命治療を受けたい。
 私は延命治療を受けたくない。
 その他の希望すること

③ 残された人生を「自分らしく過ごす」ために望むこと
残された人生を自分らしく残したものとするために、家族や介護者をする人に希望をもち行ってほしいことを記載。
↓
(希望するものをすべて選んでください)
 私は「苦痛」のある状態を望みません。苦痛を和らげるための十分な処置や投薬をしてください。
 可能であれば、自宅で療養し、自宅で死ぬことを望みます。
 私に苦痛と不快をもたらさない限り、日常ケア（ひげ剃り・爪切り・髪とかみ・洗濯など）をしてください。
 私の知人・友人などに私が病気でいることを伝え、私の元を訪れるよう頼んでください。
 可能な時は、好きな物を食べさせてください。
 可能な時は、種かが削いでください。
 可能な時は、声をかけたり、手を握ったりしてください。
 その他の希望すること

作成日 平成 年 月 日
署名 _____

もしバナゲームとは・・・

36枚のカードを使用して行います。カードには重病のときや死の間際に「大事なこと」として人がよく口にしている言葉が書いてあります。ルールに沿ってカードを使用することで、自分自身が大切にしていることを考えたり、話し合うことができます。

